

作成日 2009年10月1日
改訂日 2016年6月1日

安全データシート（混合物用）

1. 製品および会社情報

製品名 浸透プライマー 主剤
会社名 ヤブ原産業株式会社
住所 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546
担当部署 販売営業部
作成者 技術部
電話番号 048-297-4111 FAX番号 048-290-1198
緊急連絡先 048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限 コンクリート等の脆弱部強化
整理番号 110001

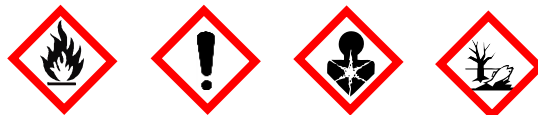
2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分外
	経皮	分類できない
	吸入：ガス	分類対象外
	：蒸気	分類できない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A
	呼吸器感受性	分類できない
	皮膚感受性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない	
生殖毒性	区分2	
特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	区分1（中枢神経系、全身毒性）
		区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	区分1（血液系）
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	区分2（脾臓、呼吸器、肝臓）
	水生環境有害性（急性）	分類できない
	水生環境有害性（慢性）	区分2

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 危険
危険有害性情報 引火性の高い液体および蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器への刺激のおそれ

臓器の障害（中枢神経系、全身毒性）
 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害（血液系）
 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(脾臓、呼吸器、肝臓)のおそれ
 水生生物に毒性
 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

容器を密閉しておくこと。
 熱／火花／裸火／高温体などのような着火源から遠ざけること。－禁煙。
 容器を接地すること。アースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
 火花を発生しない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 取扱い後は手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】

火災の場合には、消化に炭酸ガス、泡、粉末消化剤を使用すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

涼しい所／換気の良い場所で、施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

物質の特定 成分および含有量

物質名	C A S N o .	含有量 (%)	備考
ビスフェノールA型 エポキシ樹脂	25068-38-6	15～25	
酢酸エチル	141-78-6	15～25	
I P A	67-63-0	40～50	

※) 代表値であり、規格値ではありません。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくして安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染された衣類をとりのぞくこと。
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 炭酸ガス、泡、粉末
使ってはならない消化剤 : 水（棒状水、高圧水）
特有の消化方法 : 可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消化剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
- 消化を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物をすばやく取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消化器を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込めおよび浄化の方法・機材 : 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規にもとづいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密栓する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
 工具は火花防止方のもを使用する。
 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
 取り扱い後は手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱いわない。
 注意事項 : 静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。

保管

技術的対策および保管条件 : 日光の直射を避ける。
 通風のよいところに保管する。
 火気、熱源から遠ざけて保管する。
 盗難防止のために施錠保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH (TLV)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	設定されていない	設定されていない
酢酸エチル	200 ppm	400 ppm (TWA)
I P A	200 ppm	200 ppm (TWA) 400 ppm (STEL)

設備対策

: 取扱い設備は防爆型を使用する。
 排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。
 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。
 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
 タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

呼吸器用の保護具 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。
 手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
 目の保護具 : 取り扱いには保護メガネを着用すること。
 皮膚及び身体の保護具 : 取り扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

状態 : 液体
 色 : 青色
 臭い : 溶剤臭
 沸点 : 77～83℃

引火点	: -4℃
爆発範囲	: 2～12%
比重(密度)	: 0.94
水に対する溶解性	: 不溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: 427℃
分解温度	: 情報なし

10. 安定性および反応性

安定性	: 常温付近では危険な反応はしない。
避けるべき条件	: 火気および高温体との接触。
混触危険物質	: 強力な酸化剤、塩基、または酸

11. 有害性情報

引火性液体	: 区分2
急性毒性 経口	: イソプロピルアルコール (LD ₅₀ ラット:3437 mg/kg、区分外)
経皮	: 分類できない
吸入(蒸気)	: 酢酸エチル (LC ₅₀ ラット:16000ppm、区分4)
皮膚腐食性・刺激性	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(区分2B) 酢酸エチル(区分2B) イソプロピルアルコール(区分2)
呼吸器感作性または皮膚感作性	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(区分1、皮膚)
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: イソプロピルアルコール(区分2)
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	: 酢酸エチル(区分3 気道刺激性、麻酔作用) イソプロピルアルコール(区分1 中枢神経系、全身毒性、 区分3 気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	: イソプロピルアルコール(区分1 血液系、区分2 脾臓、呼吸器、 肝臓)
吸引性呼吸器有毒性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
水生環境有害性(急性)	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(区分2)
(慢性)	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(区分2)

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。

容器、機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規にしたがって処理を行うか、委託をすること。

廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土などに吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガス

が発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

汚染容器および包装：空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1.4. 輸送上の注意

共通

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国内規定

国連番号：1 2 6 3

指針番号：1 2 8

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号：1 2 6 3

国連輸送名：塗料関連部（引火性）

国連分類：クラス 3（引火性液体）

容器等級：容器等級 II

1.5. 適用法令

消防法：第 4 類第一石油類（非水溶性液体）危険等級 II

労働安全衛生法：危険物（引火性の物）
名称を表示すべき危険物及び有害物
酢酸エチル、イソプロピルアルコール
名称を通知すべき危険物及び有害物
酢酸エチル、イソプロピルアルコール
強い変異原性が認められた化学物質
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂中間体

有機溶剤中毒予防規則：第 2 種有機溶剤

1.6. その他の情報

参考文献

- ・ GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
- ・ SDS 用物質データベース（日本塗料工業会）
- ・ 国際化学物質安全カード（ICSC）
- ・ 原料 SDS

注意

本データシートは、作成または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日 2009年10月1日

改訂日 2018年10月1日

安全データシート（混合物用）

1. 製品および会社情報

製品名	浸透プライマー 硬化剤		
会社名	ヤブ原産業株式会社		
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546		
担当部署	販売営業部		
作成者	技術部		
電話番号	048-297-4111	FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111		
推奨用途及び使用上の制限	コンクリート等の脆弱部強化		
整理番号	110002		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性 吸入：蒸気	区分4
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1A
	授乳に対する、または授乳を介した影響に関する追加区分	追加区分
	特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	区分1（中枢神経系、全身毒性） 区分3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	区分1（中枢神経系、腎臓、血液系） 区分2（脾臓、呼吸器、肝臓）	
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分2
	水生環境有害性（慢性）	区分3

* 上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性の高い液体および蒸気 吸入すると有害 皮膚刺激 重篤な皮膚の薬傷及び眼への刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 眠気またはめまいのおそれ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

注意書き

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

臓器の障害（中枢神経系、全身毒性）

長期にわたるまたは反復曝露による臓器の障害（中枢神経系、腎臓、血液系）

長期にわたるまたは反復曝露による臓器の障害のおそれ（脾臓、呼吸器、肝臓）

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に有害

【安全対策】

容器を密閉しておくこと。

熱／火花／裸火／高温体などのような着火源から遠ざけること。－禁煙。

防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。

容器を接地すること。アースをとること。

火花を発生しない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

妊娠中、授乳中は接触を避けること。

適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。

取扱い後は手洗いおよびうがいを十分に行うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

火災の場合には、消化に炭酸ガス、泡、粉末消化剤を使用すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

【保管】

涼しい所／換気の良い場所で、施錠して保管すること。

容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

物質の特定 成分および含有量

物質名	C A S N o .	含有量 (%)	備考
ポリアミノアミド	68071-65-8	8. 0	
テトラエチレンペンタミン	112-57-2	(1. 2)	ポリアミノアミド中に含まれる不純物 PRTR1 種
トルエン	108-88-3	46. 0	PRTR1 種
I P A	67-63-0	46. 0	

※) 代表値であり、規格値ではありません。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくして安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染された衣類をとりのぞくこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 炭酸ガス、泡、粉末
使ってはならない消化剤 : 水（棒状水、高圧水）
特有の消化方法 : 可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消化剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
- 消化を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物をすばやく取り除く。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の
方法・機材

着火した場合に備えて、適切な消化剤を準備する。
：河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
：漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規にもとづいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛
土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密栓する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止方のもを使用する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を
着けて作業すること。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取り扱い後は手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まな
い。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。

注意事項

：静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。

保管

技術的対策および
保管条件

：日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH (TLV)
ポリアミノアミド	設定されていない	設定されていない
テトラエチレンペンタミン	設定されていない	設定されていない
トルエン	5 0 ppm	5 0 ppm (TWA)
I P A	2 0 0 ppm	4 0 0 ppm (TWA) 5 0 0 ppm (STEL)

設備対策

：取扱い設備は防爆型を使用する。
排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。
液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備するこ
と。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とす
ること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設
備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にす
ること。

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 目の保護具 : 取り扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

- 状態 : 液体
- 色 : 黄色
- 臭い : 溶剤臭
- 沸点 : 83～111℃
- 引火点 : 5.0℃
- 爆発範囲 : 1.1～12%
- 蒸気圧 : 4400Pa
- 蒸気密度 : 3.1
- 比重(密度) : 0.82
- 水に対する溶解性 : 不溶
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 自然発火温度 : 456℃
- 分解温度 : 情報なし

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 常温付近では危険な反応はしない。
- 避けるべき条件 : 火気および高温体との接触。

11. 有害性情報

- 急性毒性 経口 : テトラエチレンペンタミン (LD₅₀ ラット : 2100～3990mg/kg、区分外)
トルエン (LD₅₀ ラット : 4800mg/kg、区分外)
イソプロピルアルコール (LD₅₀ ラット : 3437 mg/kg、区分外)
- 経皮 : テトラエチレンペンタミン (LD₅₀ ウサギ : 660～1260mg/kg、区分3)
イソプロピルアルコール (LD₅₀ ウサギ : 4059 mg/kg、区分外)
- 吸入(蒸気) : トルエン (LC₅₀ ラット : 4800ppm、区分4)
- 皮膚腐食性・刺激性 : テトラエチレンペンタミン (区分1)、トルエン (区分2)
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : テトラエチレンペンタミン (区分1)、トルエン (区分2B)
イソプロピルアルコール (区分2A-2B)
- 呼吸器感作性または皮膚感作性 : テトラエチレンペンタミン (区分1、皮膚)
- 生殖細胞変異原性 : 区分外または分類できない
- 発がん性 : 区分外または分類できない
- 生殖毒性 : トルエン (区分1A)
イソプロピルアルコール (区分2)
- 特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 : トルエン (区分1 中枢神経系、区分3 気道刺激性、麻酔作用)
イソプロピルアルコール (区分1 中枢神経系、全身毒性、区分3 気道刺激性)
- 特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : トルエン (区分1 中枢神経系、腎臓、血液系)
イソプロピルアルコール (区分2 呼吸器、肝臓、脾臓)
- 吸引性呼吸器有毒性 : 分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 情報なし
残留性・分解性 : 情報なし
生態蓄積性 : 情報なし
土壌中の移動性 : 情報なし
水生環境有害性 (急性) : 区分 2
(慢性) : 区分 3

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約 (マニフェスト) をして処理をする。
容器、機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規にしたがって処理を行うか、委託をすること。
廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土などに吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
特別管理産業廃棄物 (廃油) に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意

共通

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

国連番号 : 1 2 6 3

指針番号 : 1 2 8

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号 : 1 2 6 3

国連輸送名 : 塗料関連部 (引火性)

国連分類 : クラス 3 (引火性液体)

容器等級 : 容器等級 II

1 5. 適用法令

消防法 : 第 4 類第一石油類 (非水溶性液体) 危険等級 II

労働安全衛生法 : 危険物 (引火性の物)
名称を表示すべき危険物及び有害物
トルエン、イソプロピルアルコール
名称を通知すべき危険物及び有害物
トルエン、イソプロピルアルコール

有機溶剤中毒予防規則：第2種有機溶剤

化学物質管理促進法：第1種指定化学物質（テトラエチレンペンタミン、トルエン）

16. その他の情報

参考文献

- ・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
- ・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
- ・国際化学物質安全カード（ICSC）
- ・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。